

日ごろの成果を発表!!

第33回白石市勤労青少年ホームまつり

10月16日、白石第一小学校体育館において、第33回目となる白石市勤労青少年ホームまつり（ALTA祭）が開催されました。

イベントでは、ALTA利用者の発表会のほか、ALTAの人気講座、おすすめ講座、得する講座を一般の皆さんへ公開する「特別公開講座」も開催されました。

ステージ・パフォーマンスのコーナーでは、エアロビクス講座の皆さんが成果を披露するなど、多くの皆さんでにぎわいました。



青少年の健全な育成のために

有害広告物除去活動

10月18日、青少年の健全な育成に悪影響を及ぼす恐れのある有害広告物の撤去活動が行われました。これは、市内の電柱に次々と貼られていることを受け、青少年相談センターが実施したものです。



活動には相談員や青少年育成員、少年補導員など、24名が参加。特に有害広告物が多く貼られている3区域に分かれ、くまなく歩いて手際よくはがしていきましました。一時間ほどで142枚もの広告物をはがし、参加者たちは、ほっと胸をなで下ろしていました。

今こそ白石に博物館を!

第1回博物館フォーラム

中央公民館で10月15日、第1回博物館フォーラムが開催されました。このフォーラムは、7月4日に白石市博物館建設構想委員会が「城下町の歴史と文化を生かした博物館建設が急務」との基本構想を答申したことを受けて、市民有志のグループが主催したものです。フォーラムでは、前仙台市博物館長の濱田直嗣氏による講演のほか、片倉重信氏ら4人のパネリストによるディスカッションが行われ、博物館建設実現へ向けて熱い議論が交わされました。



あなたです 火のあるくらしの 見はり役

一日消防署長が火災予防をPR

秋の火災予防運動を目前にした10月30日、今年で21回目となる小原地区民文化祭場において、白石消防署が「一日消防署長」を委嘱して、市民の皆さんに火災予防と消防業務の啓発活動を行いました。



今年の一歩消防署長に委嘱されたのは、地元小原在住で農協に勤務している半澤かおりさん。今年の文化祭のテーマ「安全・安心な古里創り」にあわせて、会場を訪れた皆さん一人一人にチラシなどを配りながら、火災予防を呼びかけました。

近隣3県の中学生が野球交流

近隣三県中学生軟式野球白石大会

10月22日～23日の2日間にわたり、宮城・福島・山形・岩手県から中学生の16チームが参加して軟式野球大会が開催され、益岡公園野球場など4球場で熱い戦いが展開されました。

この大会は、学校週5日制の導入に伴い、学校単位にとられない地域型スポーツ活動として開催されています。地元から出場の白石清球会は、山形県の米沢第七中学校と対戦。惜しくも5-3で敗れましたが、選手のひたむきなプレーに、会場からは温かい拍手が送られました。



気合いで苦難をふっとばせ!!

白女高でアニマル浜口トークショーを開催

10月29日、白石女子校において、ゲストに元プロレスラーでアテネ五輪銅メダリスト・浜口京子選手の父、アニマル浜口さんを迎えたトークショーが開催され、たくさんの生徒や父母が参加しました。



トークショーでアニマルさんは、娘の京子選手が経験した精神的なプレッシャーや、プロレスラー時代に自らが負った大けが、その後の克服話について熱く語り、得意の「気合いだー!」も連発しながら、親子のきずなの大切さを観客に伝えました。

西益岡でおふたりの方が99歳に!!

長寿を祝う会を開催

10月24日、西益岡会館において「長寿を祝う会」が開催されました。

これは、西益岡地区の老人クラブ「明正会」が主催したもので、同クラブの会員である半澤正雄さん、鈴木いくさんの99歳の「白寿」をお祝いしようと開催したものです。



また、会場の設営やお祝いの料理などの準備は、西益岡地区の主婦の皆さんでつくるボランティア団体「あじさいの会」が全てを担当。心のこもった持てなしに、お二人は無量のご様子でした。

優雅な着物で白石をPR

白石城下きものまつり

10月14日から17日の4日間にわたり、すまいるひろばを中心に「白石城下きものまつり」が開催されました。この催しは、着物をテーマに歴史と文化の薫るまち・白石をPRしようと、白石まちづくり株式会社が主催したものです。

すまいるひろばで着物ファッションショーや神前結婚式が行われたほか、壽丸屋敷では、明治から昭和期の着物展示など、期間中、多彩なイベントが行われ、大勢の人でにぎわいました。



茶の湯を満喫

白石城茶会

10月16日、白石城天守閣と碧水園を会場に恒例の白石城茶会が開催され、白石茶道会員により濃茶・薄茶・煎茶席が設けられ、県内外から約600人が訪れて秋の風情の中、ゆったりとお茶を楽しみました。



今年は、前日から朝にかけて降り続いた雨のため、白石城本丸内の野点席が歴史探訪ミュージアムと碧水園楽屋に移動しての開催となりましたが、各席とも趣向を凝らした茶席で、訪れた参加者は心ゆくまで茶の湯を満喫していました。

市民の皆さんの文化活動の祭典!!

第36回市民文化祭を開催

白石市文化協会主催の「第36回市民文化祭」が、10月29日から中央公民館などを会場に開催されました。

10月29日からの3日間、中央公民館で開催された展示部門には、姉妹都市の北海道登別市より登別市文化協会創立40周年記念事業として届けられた絵画や写真などの展示を併せて行いました。芸能部門は、10月30日に碧水園で日本舞踊、仕舞などの古典芸能、11月3日には、中央公民館で和太鼓やパレエなどの演目が発表され、観客を魅了しました。



▲碧水園で行われた古典芸能（仕舞）

元気ハツラツ・全カプレー!!

県内外の小学生によるドッジボール大会

ホワイトキューブで10月22日、小学生の心身の健全な育成や競技の普及拡大などを目的としたドッジボール大会、第二回アルバルクカップが開催され、県内外から参加した24チームが熱戦を繰り広げました。



地元白石からは2チームが出場。お母さんたちの熱い声援を受けて、白二小電撃隊が第三位になるなどの健闘をみせました。

大会主催者のアルバルクキッズでは、ドッジボールをしてみたいという小学生を随時募集しています。

昔ながらの美しい川を守ります

沢端川で秋季川干し清掃奉仕作業

10月15日、沢端川とその周辺で秋季川干し清掃奉仕作業が行われ、ボランティアなど約80名が参加しました。この催しは、用水路の維持補修のために3日間実施された川干しに合わせ、観光客の多い沢端川周辺を美化しようと、白石市観光協会などが実施したものです。

参加者は6つの班に分かれ、川底に捨てられたゴミなどを次々に回収しました。また、この日はボーイスカウトの皆さんによる鯉上げも同時に行われました。

